

荒尾の初秋を彩る風物詩・お祭り

400年の歴史を伝える伝統芸能
「上井手神社夜燈祭り」

9月10日（木）、上井手神社夜燈祭りが開催されました。

上井手下公民館と上井手上農事集会所からそれぞれ、行燈を手にした子どもたちと黒装束と白装束の若衆が、楽演奏しながら上井手の唐崎宮まで練り歩きました。

境内では花火や抽選会も催され、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

子どもの健やかな成長を願って
～にしばるさん～



→すくすく健やかに育つてね
9月11日（金）、西原大神宮で秋の大祭が行われました。

子どもの健やかな成長を願つて、鶏の絵が書かれた絵馬を奉納する家族連れが訪れていました。



←行列はゆっくりと
神社に向かいます



←花火が提燈に火を点します

猛暑もようやく峠を越え、有明海を渡る風がさわやかにそよぐ季節となりました。

このほど、平成20年度予算の決算状況を公表しましたが、平成17年度以降引き続いている単年度黒字、平成18年度以降の累積黒字の決算となりました。市財政については、これまでに、財政健全化緊急3か年計画、これに続く新3か年計画を策定し、さまざまな収入増や経費削減に取り組んできたところですが、このことは市財政の健全化に向けて市民の皆様が行政と一体となって痛みを分かち合つていただいた賜と深く感謝申し上げます。

しかし、その一方で、国政における政権交代や経済、社会状況などの変化を踏まえますと、地方交付税など市歳入の不透明なことや急速に進む少子高齢化などに対応した歳出の増加に備える必要があります。こうしたことを行なったことを踏まえ、今年度は、私が就任以来2度となりました。

し、更にしっかりと市政運営を目指して改革に取り組んでまいります。

また、今後、来年度の予算編成に取りかかりますが、まちづくり談義などでお伺いしました市民の皆様からのご意見なども踏まえながら、真に必要な市民サービスは何のかをしっかりと見極めて、厳しい財政状況の中ではあります。

ありますがメリハリのある予算を編成し、荒尾の活力を見いだす努力をしていきたいと考えております。

他方で、厳しい経営を強いられている市民病院と荒尾競馬につきましては、これまでに市民代表の方も参画いただいた「あり方検討会」をそれぞれに開催し、その概要については、市ホームページなどでお知らせしております。

致しました。それは、市民団体からもご提案のあります市庁舎の「緑のカーテン」づくりです。緑の優しさに加えて、照りつける日差しを少し柔らかにしてくれました。

たが、やがては壁面緑化や屋上緑化へつなげなければと願った夏がありました。

市民の皆様にも市内各地域で環境問題に取り組んでいただいておりますが、「環境」をキーワードとして皆様の連帯意識が醸成されることは、私が市政運営の目標しております。「住みたい荒尾、住み続けたい荒尾」のまちづくりを確かなものとしていただけると信じております。

今年は、また、例年の猛暑に加えて、早夏場から新型インフルエンザが全国的に流行しております。市民の皆様には、日頃からの家族での話し合いや帰宅時の手洗い、うがいの励行といった備えをお願いします。

役所では小さな試みを実施

荒尾市長 前畠淳治

市長室から



9月11日（金）、西原大神宮で秋の大祭が行われました。

子どもの健やかな成長を願つて、鶏の絵が書かれた絵馬を奉納する家族連れが訪れていました。

こうした中で、この夏、市役所では小さな試みを実施

